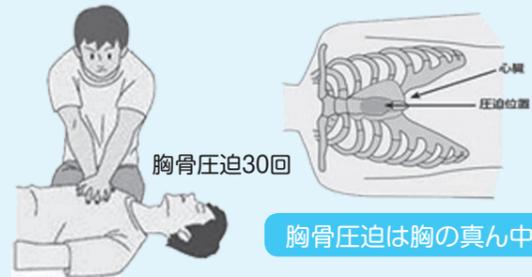


4 心臓マッサージ(胸骨圧迫)

胸の真ん中に手の付け根を置き両手を重ねて、肘を真っすぐ伸ばし、少なくとも1分間に100回以上の速さ(5秒間に8回以上)で、胸が少なくとも5cm沈む程度(小児・乳児は胸の厚さの約3分の1)、30回強く圧迫をします。
 ☆周りに協力者がいる場合は数を数えてもらったり、疲れたら交代してもらいましょう。強く、速く、中断しないことが重要です。



胸骨圧迫は胸の真ん中

血液などにより感染の危険がある場合や訓練を受けていない場合はAEDが到着するまで、心臓マッサージを続けます。

5 気道確保・人工呼吸

●気道確保

傷病者を仰向けに寝かせた状態で片方の手で額を押さえながら、もう片方の人差し指と中指で顎を上を持ち上げます。(口の中に異物があれば除去します。)

●人工呼吸

額に当てている手の親指と人差し指で鼻をつまみ、胸部が膨らむよう息を約1秒吹き込みます。(できるだけ感染防護具を使ってください。)

2回繰り返し、心臓マッサージを再開します。

☆AEDが到着するまで、心臓マッサージ30回と人工呼吸2回を交互に繰り返します。

約1秒かけて、胸の上がりが見える程度の量を、2回吹き込みます。



人工呼吸2回

離れて下さい!



心電図解析中は、傷病者に触れてはいけません。

6 AEDによる除細動(電気ショック)

AEDが到着したら電源を入れます。

傷病者に電極パッドを装着し、心電図解析を行い、電気ショックの必要性を確認します。(機械の音声ガイドに従って操作します。)

ショックボタンを押すときは危険ですので、傷病者の周囲から離れ、触れないようにします。

☆電気ショック後はただちに心臓マッサージと人工呼吸を再開します。

救急車到着

救急車が到着し救急隊員に引き継ぐまでは、正常な呼吸や目的のある仕草など、明らかに心拍再開と判断できる反応があるまでは、心臓マッサージを続けます。



AED 心肺蘇生の手順



あなたは倒れている人(傷病者)を見つけました。
 救急隊員が到着するまでにできることを迅速にしなければなりません。
 命のリレーはあなたから始まります。

1 周囲の安全確認・意識確認

●周囲の安全確認

傷病者の周囲の安全を確認し、道路上など危険な場所の場合は、安全な場所に移します。

●意識確認

「大丈夫ですか」など、耳元で問いかけながら、肩(鎖骨の辺り)を叩き、意識の有無を確認します。

反応があった場合は、傷病者の訴えを聞き、必要な応急手当をします。



呼びかけに反応がない場合

2 大声で助けを呼び、119番通報とAEDの手配を依頼する

協力者に119番通報をし、救急車の手配をしてもらい、AEDを持ってきてもらいます。誰もいなければ、まず119番通報を行います。

☆一人でやろうとせず、周りの人の協力を受けましょう。



3 呼吸の確認

見た範囲で規則的で正常な呼吸をしているかを10秒以内で確認します。(普段どおりの呼吸があれば横向きにして気道を確保し、救急車を待ちます。)

不自然な呼吸(しゃくりあげるようなゆっくりとした不規則な呼吸など)は心停止の可能性が高いので、見逃さないようにしましょう。

☆正常な呼吸の確認ができない場合は、「呼吸なし」と判断します。10秒以内の判断が重要です。



胸と腹部の動きを見て、「普段どおりの呼吸」をしているか、10秒以内で確認します。

救急の日 2013 ～とまピン救急隊出動!!～

八代消防署では救急の日に伴いイベントを行います。楽しく応急手当を体験して、もしものときに備えましょう!

◆日時 9月7日(土) 13時30分～15時30分まで

◆場所 ゆめタウン 八代店

◆内容

- ①八代特産トマトのイメージキャラクター「とまピン」とAEDを用いた心肺蘇生法の体験
- ②防火衣装体験と資料配布
- ③クイズ大会



AED(自動体外式除細動器)とは、けいれんし、血液を流すポンプ機能を失った状態(心室細動)になった心臓に対して電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。
 心室細動の唯一の治療方法は、除細動器で電気ショックを与えることだと言われています。AEDの使用と併せて、心臓マッサージや人工呼吸を行うことで一人でも多くの人を救うことができます。

AEDとは?